

令和4年度第2回あきる野市図書館協議会 会議録（抄録）

- 1 日 時 令和4年11月21日（木）午後3時～3時45分
- 2 会 場 あきる野市中央図書館2階会議室
- 3 出席者 委 員：村岡委員、齋藤委員、古城委員、伊藤委員、毛利委員、
松下委員、宮崎委員
事務局：佐藤生涯学習担当部長、細谷図書館長、
清水庶務係長、古川東部図書館エル係長、君島五日市図書館係長、
坂本五日市図書館主査
- 4 議事
 - (1) 第4次あきる野市子ども読書活動推進計画 素案について
 - (2) 図書館事業計画 施策目標について
 - (3) その他

開会 <図書館長>

- ・ 会議の成立についての報告（図書館協議会運営規則第4条に基づく）
- ・ 希望者4人の傍聴を許可する。
- ・ 会議録はホームページ等で公開する。

挨拶 <宮崎議長>

<生涯学習担当部長>

資料の確認

議事

<以下、議長進行>

- (1) 第4次あきる野市子ども読書活動推進計画 素案について

○事務局説明（図書館長）

配布資料「第4次子ども読書活動推進計画（案）」により説明

- ・第1章 計画策定について、国や都の動き及び市の三次までの計画について記載
- ・第2章 市の現状や第三次計画の成果と課題について記載
- ・第3章 第4次計画の基本的な考え方について記載
- ・第4章 第4次計画の内容について記載

○質疑

委員 「第4章 3 学校（図書館）の読書環境整備【図書館】①学校への団体貸出用図書の実」についてだが、学校には生徒1人につき1台タブレット端末が導入され、調べもの学習がスムーズに進むようになった。以前は図書館から団体貸出用図書を利用して調べものをしてきた経緯もある。

現在の団体貸出用冊数はどれくらいなのか。

事務局 手元に統計資料がないので詳しくは申し上げられないが、総合学習用の図書資料の貸出依頼もあることから、例年と比較してもそれほど減っているという認識はない。

委員 タブレット端末は機能性も高くとても便利であるが、維持管理等のコストがかかるという問題もある。今回、新規にこの項目を追加したことは良いことだと思う。

事務局 タブレット端末の必要性は認識しているが、本を通じて基本的な知識や思考を学べるところもあるので、今後も学校への団体貸出を充実していきたい。

議長 タブレット端末の導入は、子どもたちにとって、調べる方法がとても簡単で便利になったが、調べた内容を書き写したり、もう一度調べるということをする場合には、本を活用してもらった方が良いという部分もある。

委員 学校図書館の現状として、各学校によって地域の支援等に差がでてきており利用する生徒も減少傾向となっていることから、司書資格を持つ教員を配置することが良いと思う。

議長 学校図書館の司書は、市内の各小中学校に配置されているのか。

委員 配置されているが、各学校等の事情によって、非常勤職員として雇用している場合もあり、学校間での差が生じてきている。

議長 各学校の雇用の問題もあると思うが、専任の教諭が配属されていない場合は、図書館補助員や地域ボランティアの方等のサポートを受けて運営できていると思うが、今後は、各学校に司書教諭を配置していくことになるのか。

委員 本校では、司書教諭と市が雇用している週2日勤務の図書館補助員が連携を図りながら対応している。

議長 タブレット端末の活用と併せて各学校の司書教諭の配置が整備されてくれば、良い方向に進んでいくと思う。

(2) 図書館事業計画 施策目標について

○事務局説明（庶務係長）

資料1「基本理念及び施策目標」により説明

- ・ 基本理念及び施策目標については、図書館事業計画の策定にあたり、上位計画である「あきる野市生涯学習推進計画」に基づき、その指針として定めている。今年3月に「あきる野市生涯学習推進計画 学びプラン4」が策定されたことから、基本理念及び施策目標の改定についてご意見を伺いたい。
- ・ 事務局としては、「学びプランⅢ」から「学びプラン4」への改定に際し、基本理念は変わっておらず、施策目標についても統合や文言整理が主であり、図書館に関する部分に大きな変更がないため、これまでの内容を引き継ぐ形で良いかお諮りしたい。

○質疑

委員 施策目標の市域を網羅する図書館サービス網の整備についてだが、電子書籍のサービスが全国でも拡がりを見せていることから、今後も普及していけば読書推進が向上できるのではないかと思う。

現在の市の電子書籍の導入状況はどのようになっているのか。

事務局 電子書籍に関しては、問題点として、本の場合は購入すれば、本が使用可能な限りいつまでも見ることが可能であるが、電子書籍の場合には契約により閲覧期間が決まっており、期間を過ぎた場合は新たに料金の支払が発生する問題点がある。

市としては、先進自治体の事例等を参考にしながら検討していく必要があると考えている。現時点では導入するという方向までには至っていない。

委員 段階的に取り入れても良いのではないか。

事務局 試験的な導入も含め、今後検討していく。

委員 市内では、深沢地区から発見された五日市憲法草案や質の高い地域資料があり、この貴重な資料を多くの方に見てもらうためには、移動図書館の導入等も検討しても良いと思う。

事務局 以前は、都立図書館が運営する移動図書館の車が市内の公民館等に来ていたこともあり、図書館から遠方の地域の方から移動図書館の要望もあった。市全体として施設の統廃合や電子書籍の普及推進も考慮しながら、検討していく。

委員 読書活動の推進を図るため、図書館振興財団のコンクールに学校図書館と協力して参加すると良いと思う。

議長 今後、学校図書館と図書館との連携が推進できれば、学校の充実が図られるとともに図書館の成果も上がってくると思う。

議長 本件については、継続するというところでよろしいか。

(委員からの「異議なし」の発言あり)

議長 本件について承認とする。

(3) その他

○質疑

委員 図書館が行う事業を知らない人も多いことから、市の広報を活用した周知など考えてもらいたい。

事務局 コロナ渦の影響もあり、図書館で本を借りる方も減ってきている状況だが、市の教育広報での周知等、できるところからPRしていきたい。

委員 広報だけのPRでは限りがあるため、市のホームページやSNSを活用する等、幅広く弾力的なPRをした方が良い。

議長 他に無いようなので、議事は以上で終了とする。

<以下、図書館長進行>

次回の図書館協議会の開催予定は2月とし、詳細は後日お知らせする。(事務局)

閉会